

福生市教育委員会会議録

平成26年第10回定例会

- 1 開催年月日 平成26年10月24日（金）
- 2 開始時刻 午前10時00分
- 3 終了時刻 午前10時44分
- 4 場 所 第二棟4階 第1委員会室
- 5 出席委員 委 員 長 平 野 裕 子
委員長職務代理者 渡 辺 浩 行
委 員 徳 永 喜 昭
委 員 加 藤 孝 子
教 育 長 川 越 孝 洋
- 6 欠席委員 なし
- 7 出席者氏名 教 育 次 長 天 野 幸 次
参事兼指導室長 石 田 周
参事兼学校給食課長 鳥 越 裕 之
庶 務 課 長 町 田 和 子
生涯学習推進課長 高 橋 清 樹
スポーツ推進係長 田 村 美 枝 子
公 民 館 長 萩 原 晴 男
図 書 館 長 柿 田 芳 久
主 幹 長 谷 川 智 也
- 8 傍 聴 人 1名

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第41号 福生市図書館協議会委員の任命について

日程第 4 その他報告事項

午前10時00分 開会

委員 長 ただいまから平成26年第10回福生市教育委員会定例会を開会いたします。
これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、渡辺浩行委員、徳永喜昭委員の兩名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、教育長報告。

教育長から報告願います。

教 育 長 改めまして、おはようございます。10月の教育委員会定例会への御出席ありがとうございます。9月の定例会以降本日までの事務局の報告をさせていただきます。

まず初めに、御嶽山の火山噴火についてでございます。また、違う形での自然災害が発生しまして、大変甚大な被害が起きております。このことに対しまして衷心よりお見舞いを申し上げる次第でございます。私ども教育をつかさどる身にあつて、児童・生徒の安全安心を始め市民の命をいかに守り得るかという点で、何が起きるかわからない、そういう自然災害も多く発生をしております。教育としてできること、子どもの命を守るあらゆる手段、手だてを地域社会全体で確かなものにしていかなければならないという決意を新たにしました次第でございます。

それから、台風18号、19号が相次いで発生しまして、関東地区にも被害が出ております。10月6日には市内の小・中学校を臨時休校としました。その後の台風19号につきましては気象庁の予報どおりでございましたので、早目に正確に判断して、通常授業で子どもたちもけがなく過ごせたということでございます。こうした判断が今後頻繁に起きてくるだろうと考えておりますが、いずれにしましても私ども正確な情報をもとに各地区との連携をしながら子どもたちの安全安心を第一に判断してまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、学校教育関係でございます。小学校の運動会が行われ、委員の皆様にも御参観をいただきましてありがとうございます。どの学校も児童一人一人の輝きが見られ、感激いたしました。学校がこれまで伝統を守ってきた、そのようなところも随所に見られ、子どもたちの活躍に改めて感動し、大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。

続きまして、慶應義塾大学との協働事業としてモデル校という形で実施

しておりますタブレットを活用した朝学習についてでございます。今週2校それぞれの実施校において御参観いただきまして、委員長を初め各委員の方々にも実際に子どもたちの様子をごらんいただきました。ありがとうございます。まだ導入当初ということで、初期段階でございますので、今後さまざまな問題や課題が出てくるかと思っておりますが、現在のところ初期段階といたしましては、学校においては少し時間の工夫という点で苦労がございましたけれども、児童・生徒にはさまざまにプラスの要素を感じております。家庭学習等がかなり進んでいるといった報告もいただきまして、各家庭学習の時間が延びたり、あるいはさまざまな子どもたちの特性を持って個別にそういったものが生かせればと思っておりますのでございます。今後事業の趣旨あるいは目標に沿ってその進捗を掌握していき、また改めてこの成果につかまして御報告申し上げたいと思っております。

それから、福生市教育委員会の教育研究奨励校として平成25年、26年度に指定しました福生第六小学校が、10月10日に研究発表を行い、御同席をいただいたところでございます。体を動かす楽しさを味わい、意欲を持って運動に取り組む児童の育成というテーマで研究を進めてこられたわけですが、発表会も市内あるいは市外からもおいでいただきまして、校長のリーダーシップのもと、教職員の研究としての真摯な取組に児童あるいは学校としての前進している姿が見られました。委員の皆様にも御覧いただいたことを踏まえて、また御指導、御支援方よろしくお願い申し上げます。

続きまして、社会教育関係でございます。平成26年度東京都教育委員会学校活動支援団体感謝状贈呈の決定通知ということで、福生第一中学校の「おやじの会」が受賞することになりました。11月1日、東京都教育の日記念行事において都庁大会議場におきまして受賞されるということで、事務局からも同席をいたしましてお祝いをしたいと考えております。

それから、10月13日に市民総合体育大会の総合開会式が行われました。台風の影響もあり、あいにくの雨ではございましたが、市内の各競技のスポーツ団体の方々の力強い行進をいただきまして、健康増進の意味でも各団体の活躍について、大変喜ばしい限りだと感じた次第でございます。委員長には冒頭御挨拶をいただきまして、ありがとうございました。

続きまして、10月18日の子ども議会でございます。これも恒例の行事ではございますが、児童のさまざまな市への提案という形で、子どもたちが子ども議員として堂々と発言をいたしました。その発言の姿は見事なもので、市の動きを知っているかのように、私どもが目指すべき方向性と連動

していると強く感じた次第でございます。また、子どもたちの発表を見ますと、やはり日ごろの学習の成果、意見を発表するという大変大事な要素をきちんと踏まえて指導いただいているなど実感いたしました。当日、御参観をいただきましてありがとうございます。委員長にはこの日も冒頭に御挨拶をいただいた次第でございます。ありがとうございます。

それから、市の動向についてでございますが、10月5日、福祉まつりが行われました。これも恒例の行事ではございますが、相次ぐ台風の影響で土日のたびに台風が襲来し、あいにくの雨でございましたけれども、福生第三中学校の吹奏楽部が開会を盛り上げてくれました。こうした市内の児童・生徒が地域の活動に参加する環境づくりをしていただいている学校の教職員に感謝いたします。子どもたちがより一層地域を知り、愛し、地域の発展を担っていくことを自覚してくれるものと思っております。

それから、最後でございますが、その他のところでふっさっ子未来会議の開催予定をメモさせていただきました。本来このふっさっ子未来会議につきましては、11月当初に第2回目を開催したいと考えておりましたが、その日程調整を委員の皆様と事務局でさせていただきましたところ、年明けになりますけれども、1月9日金曜日でスケジュールが一致しましたので、その日に設定させていただきました。第2回目につきましては、本年度第1回会議で確認をいたしておりますが、ワーキング部会等、昨年度の提言に基づいて本年度順次開催をし、そして未来提言に基づいて各実践計画を整えるということでございますので、この2年次の進捗など、私どもが年度末を目標にさまざま事務局で今進めていることを御報告申し上げることが、この第2回会議の大きな趣旨でございます。そういった点では、若干日にちはずれますけれども、事務局がそれぞれの目標の実現に向けて進めていることを報告できると考えておりますので、御指導方よろしくお願い申し上げます。

以上、本日の報告とさせていただきます。本日もよろしくお願い申し上げます。

委員長 教育長からの報告は終わりました。

質問がありましたら、お願いいたします。

徳永委員 総合防災訓練ですが、今回は各地域の会場に参加するよというお話でしたので、私は福生第六小学校に伺いました。訓練の様子を見て、それはそれで意義深いものだなと思って拝見したところではありますが、一つ感じたことは、子どもたちは子どもたちだけで一緒に行っていて、地域の人

たちも地域の人たちで訓練していました。今回は子どもの引き取り、引き渡しということは内容にはなかったのですが、もし具体的にそのようなことをするとすると、このちぐはぐさというのはいかがなものかと思いました。実際の災害時に子どものいない学校に行くという形になるわけですから、やはり中学校区でやるということがよろしいのではないかという感想を持ちました。

以上です。

委員 長 ほかはいかがですか。

加藤さんも地域のほうにお出になったのですよね。いかがでしたか。

加藤委員 やはり同じように地域の大人は高齢者の方が多くて、福生第四小学校は親御さんの引き取りがあったのですが、引き取り訓練の時間にはいらっしゃるけれども、防災訓練には出ていらっしゃっていない。高齢者と子どもだけになっていたのも、そのあたりは今後考えていくことだという感想を持ちました。

委員 長 渡辺委員、何かございますか。

渡辺委員 特段ございません。

教育 長 大変申し訳ございません。私の報告の中で冒頭申し上げました自然災害に関しまして発言をいたす予定のところ、抜かしておりました。大変失礼いたしました。

ただいま御指摘をいただいております10月19日に実施いたしました福生市総合防災訓練について報告をさせていただきます。大変申しわけございません。追加の報告ということで、お許しをいただければと思います。

この防災訓練につきましては、福生第七小学校をメイン会場といたしまして、今年度初めて市内の小・中学校全会場にて実施をいたすということで計画をしてまいりました。昨年度も同じような計画を持っていたわけなのですが、台風等の影響で雨天中止になりましたが、今年度実施することができました。私どもは、発災から庁内の体制のリハーサルを行いまして、その後メイン会場であります第七小学校へ出向き、それぞれの活動の様子等を見させていただきました。このメイン会場におきまして、子どもたち、児童・生徒あるいは自主防災組織、関係各機関、例えば自衛隊あるいは消防といったようなところ、そしてまたそれぞれの民間企業等々も含めましてさまざまに集っていただいた訓練ができたという意味では、大がかりな訓練ができたと思っておりますし、何より参加いたしました保護者あるいは児童・生徒、学校にとっても大きな意味があったと思っております。今

回の取組を、御指摘をいただいていることを踏まえてさまざまに反省点もありますので、反省をいたし、よりよいものにしていかなければならないという思いでございます。私どもといたしましては、今回各小・中学校で行うものとメイン会場で行うものが若干の差があったわけでございます。どうしてもメイン会場が、起震車を使用したり、実際の降雨の状況や煙の体験をしたり、あるいは屋上からの避難だったり、さまざまに子どもたちも一緒に体験できるようなことに大がかりに力を入れた関係もございまして、その他の学校についてはそれぞれの担当に任せるという形になったわけでございます。こうしたことを踏まえまして、今後につきましては、メイン会場を各学校に順次回っていく形で開催できると児童・生徒や地域の方々を含めて大規模な訓練が毎年経験できるかなと考えておりました、今後そのような点でさらなる充実を図っていかなければならないものと受けとめております。今回のマニュアルがある意味基本となってくるだろうと思っておりますので、そうした意味ではこうして市を挙げて学校を含めて開催できたことは、大きな前進であったと考えております。今後また避難所開設訓練や自主防災組織の方々とともに進めていかなければならないこととございますので、担当課であります安全安心まちづくり課とともに、連携を密にしてさらなるレベルアップを図ってまいりたいと考えている次第です。

大変申しわけございません。この総合防災訓練についての報告が漏れましたことをおわび申し上げます。

以上でございます。

委員長 では、防災訓練で、私も地域の訓練に出ましたので、感想等を一言述べさせていただきます。

今年度から地域と学校とが共同で行うということで、どのようになるのか関心を持って参加しました。少しがっかりしましたのは、学校は学校、地域は地域というふうに、それぞれが訓練を行っているというような印象になってしまったところが少し残念だったなと思います。私は福生第一中学校でしたけれども、子どもたちがグラウンドまで避難してくる態度、またいろんな作業に取りかかる態度について、生徒たちはしっかりと、私語も余りなく粛々とやっておりました。

また、実際に中学生は簡易トイレを作ったり、消火器の訓練などをやっておりましたが、例えば簡易トイレの組み立て等を地域の人と一緒にやるということになれば、そこでもっといろいろな会話が生まれたのではない

かと思います。これから考えていかなければいけないこともたくさんあると思いますけれども、1回1回積み重ねて現実の災害に対応できるいい方法を考えていけたらいいなと思いました。

それと、これは何った話なのですけれども、福生第一中学校の生徒が明神下公園まで水をとりに行ったとき、その道すがら、子どもたちの安全を考えて、第一中学校のおやじの会の方たちがそれぞれのところで立って支援してくださっていたということ、また子どもたちが水を背負って学校まで歩いてくる間に、まちの人たちがこれは何やっているのかと関心を持たれたようで、災害訓練のための飲料水を運んでいますと話したら、中学校も一緒にやっているのですかとおっしゃったということでした。今回、地域の方にも子どもたちと一緒にやっていくというのをわかっていたのは、とてもよかったことだと思います。1回1回の積み重ねで、よりよいものにしていけたらなと思いました。

それでは、ほかにございますか。よろしいでしょうか。

それでは、教育長報告を終わります。

次に、日程第3、議案第41号、福生市図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。

図書館長より内容説明をお願いいたします。

図書館長 それでは、日程第3、議案第41号、福生市図書館協議会委員の任命について御説明させていただきます。

提案理由でございますが、図書館の運営に関し必要な事項を調査審議するとともに、図書館奉仕について館長に対し意見を述べるため図書館法第14条、福生市図書館協議会条例第3条の規定に基づきまして次の者を福生市図書館協議会委員に任命しようとするものでございます。

任期でございますが、平成26年11月1日から平成28年10月31日まででございます。

次に、委員でございますが、山岸俊恵氏、学校教育関係者、新任でございます。小出 宏氏、学校教育関係者、2期目でございます。小山信一氏、社会教育関係者、新任でございます。田中恵子氏、家庭教育関係者、2期目でございます。坪井由紀子氏、家庭教育関係者、3期目でございます。新井和穂氏、家庭教育関係者、新任でございます。新井氏につきましては、図書館おはなしボランティアグループの「ポケット☆ポケット」のメンバーで活躍していただいております。松尾昇治氏、学識経験者、4期目でございます。松尾氏は、実践女子短期大学の教授で、専攻は図書館情報学で

ございます。森 由幾子氏、学識経験者、2期目でございます。森氏は、多摩美術大学の大学図書館の職員でございます。赤崎茂樹氏、公募市民、職業は施設管理員、新任でございます。山澤博子氏、公募市民、職業は主婦、2期目でございます。

以上の10名で、再任は6名、新任は4名でございます。原案のとおりご決定くださいますようお願い申し上げます。

委員長 内容説明は終わりました。

質疑がありましたら、お願いいたします。よろしいですか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第41号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議なしと認めます。

よって、議案第41号は原案のとおり可決することといたします。

次に、その他報告事項について説明願います。

まずは、平成26年第3回福生市議会定例会の報告についてを次長からお願いいたします。

教育次長 それでは、その他報告事項についてでございます。平成26年第3回福生市議会定例会の結果について御報告をさせていただきます。

第3回定例会の会期につきましては、9月2日から9月30日までの29日間で行いました。

なお、この定例会に先立ちまして8月26日に臨時議会が招集されました。そこで、空席でございました副市長の選任について市長から議案が提出されまして、その結果、議会の同意を得まして前企画財政部長の福島秀男氏が選任されております。そして、翌8月27日付で副市長に就任されております。

そして、9月2日からの定例会の案件でございますけれども、条例改正、一般会計、特別会計の補正予算、平成25年度の決算認定など、全部で16件の議案がございましたが、教育委員会が関係します議案2件を主なものとしてここに記載させていただきました。

最初に、平成25年度福生市一般会計決算認定につきましては、決算特別委員会に付託されまして、審査の上、認定されております。

次の平成26年度福生市一般会計補正予算(第2号)でございますが、教育委員会の所管となる主なものを申し上げさせていただきますと、まず給

食センターの建て替えに伴いまして全小・中学校の給食用設備を整備する必要がございまして、今回の補正予算では給食用設備整備事業費として第二中学校の設計委託料を計上いたしております。その他わかたけ会館改良事業について建築単価の上昇等がございまして、当初の工事請負費に不足をする分を増額分として計上しております。これらの補正予算に関する事項につきましては、全て可決されております。

次に、一般質問でございますけれども、全部で17名の議員からございました。そのうち教育委員会関係の質問は10名の議員からございまして、その質問の内容でございますが、学校給食に関する質問が2名の議員からございましたほか、学力向上について、防災教育について、教科書採択について、そして所在不明児童・生徒についてなどの一般質問がございました。質問要旨、答弁の要旨につきましては、議員別に記載をしておりますのでお目通しをいただければと存じます。

以上、平成26年第3回福生市議会定例会の報告とさせていただきます。

委員長 何か御質問等ございますか。

渡辺委員 質問ではないのですが、先ほど徳永委員からお話がありましたが、議員の中でも適正規模や適正配置についてのお話が出ているのですね。答弁の中でも、それについて今後考えようということになっていますので、ぜひ教育委員会の適正規模あるいは適正配置についてもお考えいただける機会があればと思います。

以上です。

参事兼指導室長 教育長が9月の議会で御答弁申し上げましたとおり、適正規模、適正配置については国の法に基づく規模でいうと、本市にはいわゆる小規模校に類する学校が3校ございます。今後の動向も見据えながら、小規模校の良さという点もありますでしょうし、あるいは委員から御指摘いただいたように、統廃合ということも広い視野で検討していかなければいけないという認識を事務局としては持っております。今後コミュニティースクールの開校であるとか、諸施策とこれらのことは連動していくと考えておりますので、事務局の中でその委員会等を今後設置して計画を立案していく予定です。またその時期になりましたら、教育委員の皆様にご報告し、協議をしていただきたいと思いますと思っております。

以上でございます。

委員長 渡辺委員、よろしいですか。

渡辺委員 はい。

委員長 市議会の定例会では、毎回、教育に関して高い関心を持っていただき、現在私たちが課題としていること、また今後、適正配置にしてもそうですけれども、重要な課題に対しても関心を持って教育委員会の動向を見てくださっていると思います。私たちもしっかりと審議してまいりますので、また市議会の方々には御理解いただいて、一緒にやっていたらと考えております。よろしくお願いいたします。

そのほかその他報告事項はございますか。

参事兼指導室長 それでは、平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について説明させていただきます。

9月の定例教育委員会で本市の結果の分析を報告いたしました。東京都が昨日の東京都教育委員会で東京都全体の分析について説明をされており、その分析がインターネットにオンラインされておりましたので、それについて御報告いたします。1枚目については、東京都全体の傾向が出ているのですが、本市に深く関係するところがございます。3、課題というところで、知識、技能に関する課題について、改善傾向にあるが、立ち戻る指導や繰り返し学習することで確実に定着を図る必要がある、ということを示挙げております。本市の場合はこれが非常に伸びた、学力的に躍進したという指摘を東京都でまとめていただいているところがございます。今の課題に対する指摘なのですが、同一児童の学力調査結果の伸び、つまり東京都の学力調査と国の学力調査の結果を対比している例でございます。これは、現在の小学校6年生でございます。東京都は、去年の5年生が現在の6年生で、この2年間の比較を東京都で分析してございまして、向かって左側の5年生、去年の東京都の調査によりますと、例題として3つ出ています。特に課題があったということでございますが、例えば国語の6、お礼の手紙の下書きについて、おかしな部分があるので、直しなさいという問題でございまして、「日差しが日に日に強くなり、暑さがきびしくなってきたけれど、いかがおすごしですか」という、そのどこが間違っているかを書く問題でございます。去年、東京都全体の正答率が65.4ポイント、本市では、この同じ問題で53.2ポイントの結果でございました。全く同じ問題ではないのですが、同様の傾向の問題です。昨日の出来事という文章を書いた後で適切な表現にしようとしているもので、どの部分かという問題なのですが、「このようなことになったのは、母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました」という、去年の東京都の問題と非常に似ている問題です。これを比較すると、東京都は正答率が85.1ポイントで、

東京都全体では25年度に比べて19.7ポイントアップしているという分析があるのです。26年度、この問題の本市のポイントは82.9ポイントで、去年との比較で言えば東京都のポイントのアップ数を大きく上回らして、29.7ポイントもアップしています。劇的にアップしているという分析になっています。同じように算数の問題が2つありまして、去年の5年生の段階では算数の1番、計算です。この問題が都は77.9と書いてありますが、本市は71.8ポイントだったのです。今年、全国を見ますと、東京都は81.6ポイントなのですが、本市は87.3ポイントと、東京都の平均を上回っています。比較でいうと都は3.7ポイントアップと書かれているのですが、本市は15.5ポイントアップという形です。同じく算数の8番ですけれども、これは数式を考えていく問題なのですが、東京都は去年74.9ポイントだったのですが、本市は70.6ポイントで、東京都を下回っていました。今年度全国のほうですけれども、東京都は82.8ポイントで、7.9ポイントアップしているのですが、本市は81.9ポイント、率でいうと11.3ポイントアップで、これもかなりのアップでございます。これはまさに本市が取り組んできたことを分析していて、学力調査でできなかった、わからなかった問題をそのままにしないで立ち戻る指導が必要です、と東京都は言っているのですが、本市は去年、25年度の都の結果を踏まえて、既に委員の皆さんに御報告したとおり去年の10月にも同じ問題をやっているわけです。同じ問題というのは、類する問題です。つまりできなかった子たちをそのままにしないでいこうという取組を学校と教育委員会とでやってまいりました。それがこのように5年生と6年生、同じ子どもたちの伸びということで、非常に短期間ではございますが、はっきりと伸びているということがわかります。

続きまして、中学校でございます。これは、9月に委員のみなさまに御報告していることではあるのですが、東京都でまとめているので、改めて数字で御報告いたします。こちらのほうは、先ほどのものと違いまして、21年度に悉皆で行った調査と今年度悉皆で行った26年度の調査を比較しています。ですから、生徒の方は違うのですが、分析をしております。経年比較です。向かって左、21年度をごらんいただきますと、数学のA、これは中学3年生です。数学のAで4分の3 $x = 4$ 分の1 $x - 7$ という問題に対して、全国は52.3、東京都は53.2で全国比0.9ポイントなのですが、本市の子どもたちは当時34.8ポイントで、全国に比べますとマイナス17.5ポイントと、17.5ポイント全国に比べて低かったわけです。当然東京都に

比べてもかなり低さがありました。それが今年の中学校3年生でございますが、問題は違います。同じ方程式の問題、中学校1年生程度の問題ですけれども、これが全国は59.5、東京62.7とお示ししてありますが、本市の場合は59.6ポイント、これはポイントでいうと全国比プラス0.1ポイントと、要するに5年前はマイナス17.5ポイントだったのが、今年の中学3年の生徒たちは全国平均より上回っています。これは、先般、指導主事から報告したとおりでございます。次の同じく連立方程式でございますが、こちらは21年度については全国72.8ポイント、東京72.9ポイントでございますが、本市は5年前の子どもたちは56.8ポイントで、全国に比べると16.0ポイント低かったのです。それが26年度、今年の子どもたちは全国67.2ポイント、東京70.8ポイントで、我が市の子どもたちは66.2ポイントで、全国比マイナス1.0ポイントでございます。

どうしてこのようになったかという分析でございますが、大幅に改善が見られた地区の取組、まさに本市でございますが、本市は学力パートナーシップ事業に指定されてやってきております。基礎・基本の徹底で小4までの基本的な内容を繰り返し学習できるようにまとめた東京ベーシック・ドリル、これを本市の場合は他区市に先駆けて取り組んでおります。教育長がこれまでの会議で申し上げてきており、議会でも御答弁しておりますが、小学4年生までの基礎基本を徹底するということが、本市は長くやってきているということが、これだけ躍進した結果かなと分析しているところです。下の段に授業環境の整備ということで、学校で統一した授業スタイルを確立している中学校、そして授業規律の徹底を3つ中学校で図ってきているということで、今後さらに徹底していくということですけれども、それが本市は平成21年度のころに比べて各学校長が市と一丸となって取り組んできております。授業研究の活性化という中で、例えば小・中連携の研究授業の実施、これは小・中一貫教育推進委員会等で、お互いに見合う授業を全ての中学校区でやっています。あるいは、小・中の教員が合同で調査問題の作成を行い、今年度も小・中一貫教育推進委員会で12月を目指して作っているところでございます。このような授業研究を小・中で連携して取り組んでいるという分析を都はしているのですが、まさに本市はこれをやっているということで、今後、個に応じた指導、授業時数の増加等に加えて、授業環境の整備等を今後もしっかりとやっていくことで、学力向上に向け、子どもたちの力が伸びる時期を迎えているのではないかと分析しております。以上、御報告とさせていただきます。

委員 長 ありがとうございます。
子どもたちの躍進した結果を聞くと、すごくうれしいですね。
教育委員会の皆さんや学校の先生には感謝申し上げたいと思います。
ありがとうございます。
ほかに報告はありますか。
委員の皆さんから何かございますか。

教 育 長 ただ今の件について、少し補足をさせていただきたいと思います。昨日東京都教育委員会において、ホームページにもその分析、東京都が分析した結果がアップされておりまして、私も拝見させていただきました。東京都でも、本市が大幅に改善された地区として話題にさせていただいたことは大変ありがたいことであり、子どもたちにも自信と誇りを持って今後進路を切り開いてもらいたいという私どもの願いと連動して大変励みになる、そのようなコメントをいただいていると思っております。いずれにいたしましても、私どもは東京都の学力向上パートナーシップ事業においても、市議会でこれを積極的に進めていこうという応援もいただいておりますし、こういったことが着実に校長のリーダーシップのもと取り組まれてきているということについて、子どもたちがその結果をあらわしつつあると思っております。私どもは子どもたちのこのような結果について、一喜一憂することなく冷静に見つつ、小学4年生までの基本的な、基礎的な学力をどの児童にも確実に習得をさせるという目標を改めて再確認させていただき、学校や子どもたちの頑張りをより一層勇気づける確かなものとして、今後とも充実させてまいりたいと改めて認識したところでございます。今後とも御指導方よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

委 員 長 その他報告事項はございませんか。
それでは、ないようですので、その他報告事項の説明を終わります。
以上で本日の日程は全て終了しました。
これもちまして平成26年第10回福生市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございます。

午前10時44分 閉会